

平成 26 年度 市政アンケートモニター調査反映状況

	調査名（実施課）	反 映 状 況
1	静岡市ウェブサイトのリニューアルについて （広報課）	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のページは、組織（課）ごとに整理された構成であり、探しにくいという意見があったため、利用者がイメージしやすく、探しやすい項目に分類した。 ・トップページが見にくいという意見が多かったため、項目を整理し、シンプルで見やすいデザインにするとともに、「三保松原」をはじめとする静岡市らしい景観やイベントの画像を、時期に合わせてトップページに掲出していく。 ・市ウェブサイトの閲覧をスマートフォンで利用する割合が多くなっている（特に若年層：60%）ため、スマートフォンに適した表示に対応した。
2	子どもの読書について （中央図書館）	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来どのようにすれば子どもたちが、より本や絵本に親しめるようになると思いますか。」に対する回答として、「家庭で本や絵本の読み聞かせをする」（73%）など、まずは家庭から読書環境を整えることが必要と考える人が多かった。 これにより、第3次静岡市子ども読書活動推進計画においても、ブックリストやパフアインダーの作成、子ども読書の日関連事業の開催など、認定こども園や学校、図書館から家庭への啓発・広報を引き続き行っていくこととした。 ・また、学校等の読書環境の整備が家庭環境の次に多くあげられていた。これに対する取り組みとして、「第3時静岡市子ども読書活動推進計画」の中に「ちょい読み文庫の試行」を採用し、本年度から各区1校ずつで実施することとした。
3	農業体験について （農業政策課）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が参加しやすい参加形態、農業体験の内容などについてアンケートを行った。参加形態については、個人での参加（57%）、グループ参加の場合、親子で参加したい（72.1%）、農業体験の内容については、収穫体験に止まらず全体の体験を希望（81%）という結果になった。このアンケート結果を踏まえ、市民のニーズに合った農業体験を、アグリチャレンジパーク蒲原の市民向け農業体験圃場において実施するため、実施内容について現在、検討している。
4	シズオカ×カンヌウィークについて （シティプロモーション課）	<ul style="list-style-type: none"> ・「シズオカ×カンヌウィーク」において、どのような取り組みをすればもっと来場・参加したくなるイベントになると思うかとの問いで、「マルシェ等の店舗の充実」（27.5%）が最も高かったことから、登呂遺跡会場で「田園のマルシェ」を初開催し、オーガニック野菜やワイン、雑貨などの店舗を設置した。 ・次いで「映画関連イベントの充実」（24.2%）が高かったことから、清水映画祭を開催している夢町座と連動し、ミニシアター上映を実施した。 ・また、「音楽・芸術イベントの充実」（13.6%）が高かったことから、日本の伝統芸能でフランスでも高く評価されている能楽を、「登呂シャクジ能」として登呂遺跡会場で開催した。

5	市議会広報について (調査法制課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会ホームページのなかでより充実を望む項目として「議会の審議結果」(32.6%)が最も多かったことから、これまで掲載のなかった「議案」を同ページに掲載することとし、閲覧者がどのような内容の議案を審議したのか調べることができるよう変更した。 ・ご覧になったことのある広報媒体として「議会だより」(87.7%)と「市議会ホームページ」(17.3%)が多かったことから、これら2つの媒体を中心により分かりやすくなるよう、内容の充実に努めていく。
6	医療安全について (生活衛生課)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療に関してどのような内容に関心があるか調査したところ、「セカンドオピニオン」(63.2%)、「ITを使った検索法」(60.2%)と、二つの内容について関心が強く寄せられていることが分かったので、それぞれのテーマについて、当課で行っている市政出前講座の内容に反映させている。 ・医療安全支援センターについて知っているか調査したところ、知らない(92.8%)が多かったため、市民への周知を一層図るよう、FM-HI!に出演し、センターのPRを行うこととした。